

中村恒克

なかむら・つねよし 1986年東京都生まれ。2016年東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学保存修復彫刻博士課程修了博士号取得(文化財)。

取り扱い画廊/靖山画廊
作品購入の目安/要問い合わせ

Information 個展(2021年3/3~3/9・横浜高島屋)

今年初めにお寺に納めた作品です。

ヒノキに漆下地を施し、日本画顔料で彩色しています。右手に持つ玉は水晶で、両目にも水晶製の玉眼が入っています。剣に巻き付いている竜は「俱利伽羅竜王」といい、一切の邪悪を滅ぼすとされています。俱利伽羅竜王が邪悪と一緒にコロナも食べてくれることを祈っています。(中村)



「俱利伽羅竜王剣」2020年 檜、漆、水晶、顔料 100cm(総高)



「龍乃卵」2020年
木彫(檜)、顔料、膠による彩色、截金(金箔、白金箔)、漆、ガラスなど
H18.7×W30.0×D30.0cm

吉水快聞

よしみず・かいもん 1982年生まれ。

取り扱い画廊/靖山画廊、高島屋美術画廊、瀬戸美術など
作品購入の目安/要問い合わせ

Information 個展(10/16~10/28・靖山画廊)

この世にも「龍」が存在するならば、それは一体どのような存在だろうか。どんな卵から、どうやって生まれて来るのだろうか。未知なるもの「龍」を通じて、そうしたものが誕生する際の期待感を表現しようと試みる。プラチナや金の截金で彩った卵。雲の揺り籠で孵化した龍は、片目を見開き世界を睨む。新たな龍が、ここに誕生した。(吉水)



「狛(コウ)」金彩、柿渋、陶土 H67×W50×D30cm

吉島信広

よしじま・のぶひろ 1979年佐賀県生まれ。2002年南山大学文学部神学科卒業。04年愛知県瀬戸窯業高等学校陶芸専攻卒業。

取り扱い画廊/万画廊
作品購入の目安/掲載作品=51.7万円

Information ART OSAKA(12/18~12/20[万画廊ブース])、個展(2021年6/9~6/15・松坂屋名古屋店)

様々な生き物をモチーフとして取り上げながら、陶土の可塑性を生かした斬新な造形に定評がある。掲出作のような躍動感を表現することもあれば、仕掛けのようなギミックと融合させることもある。吉島の作品には視覚的かつ触覚的な面白さがあり、それがユニークな立ち位置を形作っている。(編集部)